

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	いきがい工房 さらら
-----	------------

取組の名称	こどもたちの朝と夕方の居場所づくり
実施場所	川崎市川崎区浜町1-9-14 アカツキビル1F
対象地域	川崎区田島地区
対象地域の特色・課題	工業地帯に隣接しており古くから下請け会社が多く共働き家庭が多い。養育にかける家庭も多く、また労働者や外国人が多く住み核家族世帯が多いため、家庭支援が必要な地域である。こども達が安心して安全に過ごせる場所が不足しているのが課題である。核家族のために子育てを相談し頼るコミュニティーが少ないことが課題である。また一人暮らしの高齢者が気軽に集まれる場所がないのも課題といえる。
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行く前の時間帯のこどもの見守り、特に保育園で早出保育を利用していた家庭への朝の支援。また放課後のこども達の居場所（遊びの見守りと学習支援など）の提供。 ・あかちゃんから高齢者が集い、こどもが健やかに育ち若者や大人が心ゆたかに暮らし世代を超えたふれあいが繰り広げられる身近な場所。ひととひとがつながり分かち合うことやおたがいさまといった「ゆいまーる」のような街づくりを目的とする。

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>① 朝の見守り 7:00～8:00 朝食の提供と学校への送り出し</p> <p>② 放課後支援 15:00～18:00 フリースペースと宿題などの学習支援（小・中学生） 18:00～20:00 フリースペースと宿題などの学習支援（中・高校生）</p> <p>③ 子ども食堂 17:30～19:30 （月1回）</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>10代</p>	<p>定員 (1回あたり)</p>	<p>1～10名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>週5日</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>250日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>朝の見守り 1～2名 夕方の見守り 1名 夜の活動 2名 子ども食堂 10名</p>		
<p>連携する団体・連携の手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会社ゆいまーるに朝食の提供と会場の貸し出しをしてもらった。 ・おむすびかふえサララの利用者にボランティアの協力を呼び掛けてもらった。 ・近隣保育園（あいせん保育園・わたりだ保育園・桜本保育園）にチラシを配布して早出保育利用の保護者に呼びかけてもらった。 ・町内会の回覧版で広報をしてもらえた。 		
<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の見守り 保護者が出かけた後一人で戸締りをして学校に行く不安の解消と朝ごはんの提供を利用することで朝の子育て支援につながる。8月からボランティア活動を始めた方にとっても朝のこどもたちとのふれあいが生活リズムを整えることになりはじめは不定期だった参加がいまでは毎日参加しこどもとの会話を楽しんでいる ・夕方の居場所 学校に行きづらくなった子の居場所や中学生になった子 		

どもたちが部活動のない日などにやってきて過ごし居場所になりつつある

・夜の活動

塾に通うことのできない子や勉強スペースのない子のスペースとして活用。宿題の手伝いから始まり苦手な科目を寄り添って教えてもらえることで自信が付いてきている。また、外国につながる家族のこどもにとっては、ゆったりしたペースで教えてもらえることやそういう環境があることで保護者の安心感につながっている。

・子ども食堂は忙しい保護者の支援と個食の高齢者にも声をかけ行うことで月1回の楽しみになっている。ボランティアも月1回顔を合わせることでお互いの交流をして元気をもたらしている。夏休みにひとり親限定で土曜日お昼にカレーライスの無料提供を試験的に行ってみた。限定にすることで新たな出会いや保護者のおしゃべり空間にもなり取り組みとしてはこれからも必要なものだと感じた。